

各位

2017年6月29日
株式会社リットーミュージック

「♪もしもしカメよ、カメさんよ～」が「♪ソミソミミレレ～レレドレミ～」に聞こえる!?
CDをくり返し聞くだけで、誰でも、何歳からでも“音感”が身につく
『童謡を聞くだけで音感が身につくCDブック』が発売



インプレスグループで音楽関連の出版事業を手掛ける株式会社リットーミュージック(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:古森優)は、付録CDを使うことで誰でも音感を身につけることのできる書籍、『童謡を聞くだけで音感が身につくCDブック』を、7月19日に発売します。



<そもそも音感って何？>

音感には、相対音感や絶対音感などの種類があると言われてしていますが、端的に言うなら、いずれの音感もつかみどころのない「音」というものに、名前をつけることのできる能力です。

この CD ブックで紹介しているのは、メロディをドレミで感じることができるようになる「音の記憶法」で、幼少期の音楽体験などに関わらず、何歳からでも身につけることができます。

<童謡や唱歌でなぜ音感が身につくのか？>

「童謡」と「唱歌」は、いずれも子供向けに作られた歌ですが、明治期に始まった唱歌の方が歴史は古く、その後の大正期に童謡のブームがやってきました。

唱歌（文部省唱歌）は、明治以降の西欧化教育の一環として作曲されたものが多く、音楽の基礎を効率的に学んでいくことができます。例えば、ドレミファソラシの各音を子供でも歌える狭い音域にバランス良く配置して、なおかつ親しみやすいメロディとして仕上げるなど、当時の作曲家の工夫が伺えます。

童謡は、唱歌よりも子供たちの日常生活で親しまれる歌として、大正の児童雑誌ブーム以降にさかんに作曲されました。北原白秋や野口雨情といった詩人、中山晋平や山田耕筰といった第一線で活躍した作曲家たちが携わり、音楽的にも文学的にも奥行きのある作品が多く見られます。

このような背景から、童謡も唱歌も音楽の基礎力である、音感を養うには最適の素材です。童謡や唱歌の中から厳選した 20 曲を音感習得に適した形で録音し、誰でも何歳からでも音感を身につけることのできる、CD ブックになりました。

茶摘

作曲：中山晋平

♪ 曲について/メロディのポイント

茶摘は、茶摘の季節に子供たちが歌うための歌として、戦前の児童雑誌『児童』に掲載された。この歌は、茶摘の風景を美しく描き、子供たちが茶摘の楽しさを伝えるための歌として作られた。メロディは、茶摘の風景を美しく描き、子供たちが茶摘の楽しさを伝えるための歌として作られた。メロディは、茶摘の風景を美しく描き、子供たちが茶摘の楽しさを伝えるための歌として作られた。

♪ 曲について

茶摘は、茶摘の季節に子供たちが歌うための歌として、戦前の児童雑誌『児童』に掲載された。この歌は、茶摘の風景を美しく描き、子供たちが茶摘の楽しさを伝えるための歌として作られた。メロディは、茶摘の風景を美しく描き、子供たちが茶摘の楽しさを伝えるための歌として作られた。

♪ メロディのポイント

茶摘は、茶摘の季節に子供たちが歌うための歌として、戦前の児童雑誌『児童』に掲載された。この歌は、茶摘の風景を美しく描き、子供たちが茶摘の楽しさを伝えるための歌として作られた。メロディは、茶摘の風景を美しく描き、子供たちが茶摘の楽しさを伝えるための歌として作られた。

あめふり

作曲：中山晋平

♪ 曲について

あめふりは、雨の日に子供たちが歌うための歌として、戦前の児童雑誌『児童』に掲載された。この歌は、雨の日の風景を美しく描き、子供たちが雨の日の楽しさを伝えるための歌として作られた。メロディは、雨の日の風景を美しく描き、子供たちが雨の日の楽しさを伝えるための歌として作られた。

♪ メロディのポイント

あめふりは、雨の日に子供たちが歌うための歌として、戦前の児童雑誌『児童』に掲載された。この歌は、雨の日の風景を美しく描き、子供たちが雨の日の楽しさを伝えるための歌として作られた。メロディは、雨の日の風景を美しく描き、子供たちが雨の日の楽しさを伝えるための歌として作られた。

▲全ページがカラー！ 曲ごとに書き下ろされたイラストによってより深く童謡や唱歌を味わうことができます。すべての曲に、「ドレミ」と歌詞の表記があるので、楽譜が読めなくても大丈夫です。



▲付録 CD には女性歌手による伸びやかな歌唱と、アコースティック・ギターの柔らかい音色による伴奏が収録され、哀愁溢れる世界へ誘ってくれます。

1-1 童謡と唱歌とは?

童謡の源は歌ってきた童謡や唱歌の源

童謡もまた多岐にわたるが、その中でも、このCDに収録されている童謡、唱歌は、明治維新以降の日本社会の発展、そして西洋文化の流入によって生まれたものである。その中でも、最も代表的なものが、童謡と唱歌である。童謡は、主に子供が歌うための歌であり、唱歌は、大人が歌うための歌である。童謡と唱歌は、日本の文化を代表する重要な要素である。

童謡の始まり

童謡の始まりは、明治維新以降の日本社会の発展、そして西洋文化の流入によって生まれたものである。その中でも、最も代表的なものが、童謡と唱歌である。童謡は、主に子供が歌うための歌であり、唱歌は、大人が歌うための歌である。童謡と唱歌は、日本の文化を代表する重要な要素である。

進藤 謙 (1877 - 1958)

童謡の始まり

童謡の始まりは、明治維新以降の日本社会の発展、そして西洋文化の流入によって生まれたものである。その中でも、最も代表的なものが、童謡と唱歌である。童謡は、主に子供が歌うための歌であり、唱歌は、大人が歌うための歌である。童謡と唱歌は、日本の文化を代表する重要な要素である。

中山 重平と「童謡の船」

中山重平は、明治維新以降の日本社会の発展、そして西洋文化の流入によって生まれたものである。その中でも、最も代表的なものが、童謡と唱歌である。童謡は、主に子供が歌うための歌であり、唱歌は、大人が歌うための歌である。童謡と唱歌は、日本の文化を代表する重要な要素である。

現代で童謡や唱歌を学ぶ意義

現代で童謡や唱歌を学ぶ意義は、日本の文化を代表する重要な要素である。童謡と唱歌は、日本の文化を代表する重要な要素である。童謡と唱歌は、日本の文化を代表する重要な要素である。

▲童謡や唱歌が生まれた背景や、音楽的な特徴についてもわかりやすく解説しています。

< CD 試聴 >

<https://youtu.be/4-ATrMCxj4A?t=23>

<収録曲>

1. ふじの山
2. うさぎとかめ
3. どんぐりころころ
4. 春よ来い
5. 春が来た
6. うさぎうさぎ
7. 背くらべ
8. 茶摘 (ちやつみ)
9. 故郷 (ふるさと)
10. あめふり
11. 雨
12. しゃぼん玉
13. さくらさくら
14. 荒城の月
15. 紅葉 (もみじ)
16. 浜辺の歌
17. 七つの子
18. 叱られて
19. 赤とんぼ
20. ていんさぐぬ花

●書籍情報

『童謡を聞くだけで音感が身につく CD ブック メロディがドレミで聞こえるようになる!』

著者:友寄隆哉

定価:1,404 円(本体 1,300 円+税)

仕様:B5 変型版/80 ページ/CD 付き

書籍の詳細はこちら <https://www.rittor-music.co.jp/product/detail/3117317109/>

●友寄隆哉の音感本シリーズ 好評発売中

『大人のための音感トレーニング本 音楽理論で「才能」の壁を越える!』CD 付き

『大人のための音感トレーニング本 「絶対音程感」への第一歩!編』CD 付き

『大人のための音感ドリル』CD 付き

PROFILE 友寄 隆哉(ともよせ たかや)

1959年(昭和34年)8月4日、沖縄県那覇市生まれ。ギタリスト、作編曲家。クラシック・ギターを大沢和仁氏に、現代ギター全般を高柳昌行氏に、作編曲を佐藤允彦氏に師事。著書に、4万部以上を売り上げ、理論書としては異例のベストセラーとなった『大人のための音感トレーニング本』(2011年)など。

【株式会社リットーミュージック】 <http://www.rittor-music.co.jp/>

□所在地:〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング □設立:1978年4月10日 □資本金:1億円 □決算期:3月31日 □従業員数:81名(2016年3月31日現在) □代表取締役:古森優 □事業内容:音楽関連出版事業

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>



株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:唐島夏生、証券コード:東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。2017年4月1日に創設25周年を迎えました。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報宣伝担当

Tel: 03-6837-4728/ E-mail: pr@rittor-music.co.jp